

木材価格市況標準相場

令和7年2月4日

東京木材問屋協同組合
価格市況調査委員会

○今月の価格動向

(1) 値上げ品目	5
国産材 構造材	1
北洋材・北欧材	1
合 板	3

○今月の市況動向

先ず初めに、アメリカのトランプ大統領がカナダからの輸入品に25%の関税を課す大統領令に署名し、2/4(火)から発動する予定だった関税措置については、木材業界にも大きな影響があると思われたが、直前に発動が少なくとも30日間、停止されることになったそうで、この先どうなるのか分からないが、この件に関する情報等があれば、本日の発表と合わせて共有して頂きたい旨を申し上げた。

1月の市況は、荷動きが低調な状態が続く為、原木価格・製造コストが上昇する中で、価格転嫁が難しいとの内容が多く聞かれた。

(国産材) 構造材では、需要が大きくない中、105角において問い合わせが増加している。4月からの建築基準法改正に伴い、JAS製材品が増加する期待があるとの意見もあった。秋田材・東海材でも原木価格上昇の報告が聞かれた。

(輸入材) アメリカのカナダに対する追加関税については、「現地の確かな情報は無いが、カナダ木材業者の厳しさは感じている」との報告。米松製材品については、国内大手メーカーの生産状況が、先物契約等に影響している。

(合板) 国内針葉樹合板は、徐々に価格の値戻しが進んでいる。2月より一部のメーカーが、更なる値上げを唱えた為、仮需が多少発生している。輸入合板では、3月以降に入港量の急激な減少が予想される。今後の入港状況を注視したい。